

## 各古都における歴史的風土保存の現況について

## 1 歴史的風土保存区域及び歴史的風土特別保存地区の指定状況（平成22年3月末時点）

都市名	歴史的風土保存区域		歴史的風土特別保存地区		
	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	
京都市	}	14	8,513.0	24	2,861.0
奈良市		3	2,776.0	6	1,809.0
天理市	}	5	1,060.0	2	82.2
桜井市			1,226.0	1	304.0
橿原市	}	1	426.0	4	212.0
斑鳩町			536.0	1	80.9
明日香村			2,404.0		※2,404.0
鎌倉市	}	5	982.2	13	573.6
逗子市			6.8	-	-
大津市		5	4,557.0	9	505.7
総計		32	22,487.0	60	8,832.4

※第1種歴史的風土保存地区 125.6ha  
 第2種歴史的風土保存地区 2,278.4ha

## 2 歴史的風土特別保存地区における土地の買入れ状況（平成22年3月末時点）

都道府県・政令市	買入面積(ha)		事業費(百万円)
		特別保存地区 に対する割合	
京都市	268.3	9.4%	30,000
奈良県	384.0	15.4%	52,900
神奈川県	144.9	25.3%	18,200
滋賀県	0	-	0
総計	797.2	9.0%	101,100

## 3 歴史的風土保存区域及び歴史的風土特別保存地区における届出等の状況（平成21年度）

都道府県・政令市	届出件数	許可申請件数		
		許可件数	不許可件数	
京都市	137	75	67	8
奈良県	288	276	227	49
神奈川県	136	54	34	18
滋賀県	79	9	9	0
総計	640	414	337	75

## 4 今後の課題

- ・買入面積が広大となり、維持管理が十分にできず、山林が荒廃する状況が生じている。
- ・畑作に転換する農家が増加し、歴史的風土の保存上必要な水田景観が減少している。
- ・特別保存地区の指定拡大
- ・買入事業費の確保
- ・古都にふさわしい景観の創出（景観阻害物件の除去）等